

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2001-149317(P2001-149317A)
【公開日】平成13年6月5日(2001.6.5)
【出願番号】特願平11-336752
【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 H

A 6 1 B 3/14 G

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 被検眼の眼底に投与された蛍光剤から発する蛍光を励起するための励起光を被検眼の眼底に照明する照明手段と、

該照明手段の励起光によって照明された被検眼の眼底を撮影する撮影手段と、

前記蛍光の透過率が前記蛍光以外の光の透過率より高い特性を有する第1のフィルタと

、

前記蛍光の波長域を含み前記蛍光の波長域よりも広い波長域の光の透過率が前記蛍光の波長域を含み前記蛍光の波長域よりも広い波長域の光以外の光の透過率よりも高い特性を有する第2のフィルタと、

前記第1、第2のフィルタの少なくとも一方を被検眼の眼底から前記撮影手段に至る光路中に配置するフィルタ選択手段と、
を有することを特徴とする眼底撮影装置。

【請求項2】 タイマを有し、前記フィルタ選択手段は前記タイマのスタートから予め設定された時間に達したときに前記第1のフィルタから前記第2のフィルタに切換えることを特徴とする請求項1に記載の眼底撮影装置。

【請求項3】 前記蛍光の透過率が前記蛍光以外の光の透過率よりも高い特性を有する第3のフィルタを、被検眼の眼底から前記撮影手段に至る光路中に配置することを特徴とする請求項1に記載の眼底撮影装置。

【請求項4】 被検眼の眼底に投与された蛍光剤から発する蛍光を励起するための励起光を被検眼の眼底に照明する照明手段と、

該照明手段の励起光によって照明された被検眼の眼底を撮影する撮影手段とを有し、

前記照明手段の光のうち励起光の透過率が高い特性を有する第1のフィルタと、

前記励起光を含み前記励起光の波長域よりも広い波長域の光の透過率が前記励起光を含み前記励起光の波長域よりも広い波長域の光以外の光の透過率より高い特性を有する第2のフィルタと、

前記第1、第2のフィルタの少なくとも一方を前記照明手段の光路中に配置するフィルタ選択手段と、
を有することを特徴とする眼底撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明に係る眼底撮影装置は、被検眼の眼底に投与された蛍光剤から発する蛍光を励起するための励起光を被検眼の眼底に照明する照明手段と、該照明手段の励起光によって照明された被検眼の眼底を撮影する撮影手段と、前記蛍光の透過率が前記蛍光以外の光の透過率より高い特性を有する第1のフィルタと、前記蛍光の波長域を含み前記蛍光の波長域よりも広い波長域の光の透過率が前記蛍光の波長域を含み前記蛍光の波長域よりも広い波長域の光以外の光の透過率よりも高い特性を有する第2のフィルタと、前記第1、第2のフィルタの少なくとも一方を被検眼の眼底から前記撮影手段に至る光路中に配置するフィルタ選択手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

また、本発明に係る眼底撮影装置は、被検眼の眼底に投与された蛍光剤から発する蛍光を励起するための励起光を被検眼の眼底に照明する照明手段と、該照明手段の励起光によって照明された被検眼の眼底を撮影する撮影手段とを有し、前記照明手段の光のうち励起光の透過率が高い特性を有する第1のフィルタと、前記励起光を含み前記励起光の波長域よりも広い波長域の光の透過率が前記励起光を含み前記励起光の波長域よりも広い波長域の光以外の光の透過率より高い特性を有する第2のフィルタと、前記第1、第2のフィルタの少なくとも一方を前記照明手段の光路中に配置するフィルタ選択手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

【発明の効果】

以上説明したように本発明に係る眼底撮影装置は、記録用と観察用の赤外テレビカメラと表示モニタを共用することができ、記録用光路と観察用光路を独立に設ける場合に比べて構造が単純で部品点数も少なくすることができ、小型化かつ安価に達成することが可能となる。また、光学式ファインダにリレーレンズユニットを装着せずに済むので、カラー撮影や可視蛍光撮影時には、リレーレンズの脱着の手間を掛けずに光学式ファインダを利用することができ、赤外テレビカメラの接続に伴うケーブルを減らすことができ、操作性

を向上することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】